

施設名: _____

氏名: _____

1. YK1.幼児教育の意義【無藤隆講師】

問題	「子どもの姿」とわざわざ「姿」という用語を導入していますが、その意味を説明しなさい。
回答	「姿」と呼んでいるのは、保育者が子どもの様子を見て、時にさまざまな資料を使って、その時々の子どものありさまや成長の経過を具体的に活動での例を挙げて記述することを指しています。大事なことはその姿の記述そのものというより、そこから子どもの理解や保育のあり方の振り返りを行い、保育の先を考え、保育を改善していくことです。そのため、資質・能力や幼児期の終わりまでに育ってほしい姿などを視点として用いて深い理解を可能にします。

2. YK2.幼児の発達に応じた保育内容1【川辺尚子講師】

問題	環境を通して行う保育のポイントを簡潔に書きましょう。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの経験をねがいながら環境を整えること ・子どもが環境のなかから自分で感じたり発見したり試したりすることに対して共感し、工夫すること などについて述べられるとよい。 また、見通しをもつことや大人の願いと子どもの願いのバランスを考えることについて、書いているとさらによい。

3. YK3.幼児の発達に応じた保育内容2【川辺尚子講師】

問題	幼児の発達をふまえた保育について学んだことや、保育者の役割について考えたことを述べてください。
回答	5領域の視点から子どもの姿をとらえること、子どもの願いを「こうかな」「あーかな」といろいろな展開を想像しながら、共感的に関わることなどが書かれているとよい。

4. YK4.幼児の発達に応じた保育内容3【利根川彰博講師】

問題	幼児の遊びを豊かにする援助として、大切だと思う点を挙げてください。
回答	幼児の描くイメージ(想像したこと)を共有する。一人一人のイメージを受け止め合う。など

5. YK5.幼児教育の環境【宮里暁美講師】

問題	幼児が身近な環境に自ら関わり、探索から探究へ関わりを深めていくための援助の在り方はどのようなものですか。
回答	以下の点が含まれているのが望ましい ①可塑性に富んだ環境で、子どもたちが自由に関ることができる。②一人一人の関わりを大切に見守り、気づきに共感していく ③友達や保育者と驚きや気づきを共有し、喜びの気持ちを持って身近な環境に関わる ④体験したことをドキュメンテーションで表し、体験を確かめたり深めたりできるようにする。

6. YK6.幼児教育の指導計画、記録及び評価1【北野幸子講師】

問題	環境を通じた幼児教育について、保育の独自性と重要性と関連づけながら、また、環境構成における子どもの姿への理解の深化の方法についての具体例をあげながら、説明しましょう。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期は個人差が大きく、自己中心性が高く、気持ちに左右されやすい。こういった発達の特徴を踏まえて、保育においては個々への配慮と、子どもの気持ちを基軸とし、子どもの姿を踏まえて、環境を通じた教育実践を行う。 ・環境構成にあたっては、臨機応変に子どもとの相互作用の中で環境の構成と再構成を行う。 ・子どもが自分の思いを伝え、主体的に活動できるように、安心できる、居心地のよい環境や人間関係、場づくりを行う。 ・子どもが自発的・意欲的に環境に関われるように、安心できる居心地のよい環境づくりに努める。また、発達や興味関心、生活課題、人間関係等の多様な視点を持ち、子ども理解の深化を図る。

7. YK7.小学校との接続【松寄洋子講師】

問題	保幼小連携・接続は、いくつかのステップに分かれています。①各々のステップを挙げ、その内容を説明してください。②自園が何番目のステップか、また自園での取り組み例を挙げてそのように考えた理由を述べてください。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ①4つのステップが挙げられていること、その内容が書かれていることが望ましい。 ②ステップ番号が記述されていること。交流、情報交換、接続期のカリキュラムの全て、またはいずれかについての記述が含まれていることが望ましい。

8. YK8.幼児教育の指導計画、記録及び評価2【川辺尚子講師】

問題	子どもの姿から計画を立てることが大事ですが、その姿を捉えるときや振り返るときに考えるポイントについて、説明しましょう。
回答	子どもの姿を読み取る、仮説を立てる、「3視点・5領域」に重ねる、についてなどポイントとなる事項の説明ができるとよい。